

あとがき

ダウン症のある子を授かったとき、「すぐに役に立つ情報が欲しい」と思ったのは私自身でした。どんなふうになっていくのか？何をしたらいいのか？同じ思いを経験してきた仲間だからこそわかる痛みを、これからのママたちに味わってほしくないと思うようになったのが、この「子育て手帳」ができるきっかけでした。

ダウン症のあるお子さんの多くにある、21番目の1本多い染色体は、赤ちゃんからのたいせつなおくりもの。タイトルにある「+Happy」の「+（プラス）」は、赤ちゃんが運んでくれた“プラスの幸せ”を意味しています。

サブタイトル「しあわせのたね」は、ダウン症のあるリコーダー奏者・荒川知子さんのCDアルバムタイトルからいただきました。ご家族の愛情のもと、すくすくと育つ「しあわせのたね」は、きっと見たことのない大きな花を咲かせてくれることでしょう。

この「+Happy しあわせのたね」を手にしたご家族が笑顔いっぱい子育てができますように、心から願いを込めて、ダウン症のある書家・金澤翔子さんの書をお贈りします。

最後になりましたが、この手帳の製作にあたりご寄稿いただきました皆様、アンケートにご協力くださいました皆様に心より厚く御礼申し上げます。

21+Happy 佐橋由利衣

♪「21+Happy」とは、東海三県（愛知・岐阜・三重）にお住いの方やこの地にゆかりのある方でダウン症やその他染色体起因による障がいをもつお子さんのご家族や、そのご家族を支援して下さる方々が集うインターネット上のコミュニティ（サークル）です。平成22年から各地を巡回する写真展や写真集を制作し、楽しく幸せに暮らしている家族の姿を通して「知ってもらう」活動を続けています。♪

■ 表紙の絵

稲田萌子（いなだ・もえこ）

クラフト工房「La Mano（ラ・まの）」所属
「無題」2008年
水彩・コラージュ 34.8×24.8cm 個人蔵
写真・プロフィール提供：小出由紀子事務所

profile

稲田萌子さんは1985年・京都市生まれ。高校卒業後、東京都町田市にある〈クラフト工房ラ・まの〉に参加して創作活動を始めました。様々な技法を用いていますが、とりわけすばらしいのが貼絵です。彩色した和紙をちぎり、水に濡らし、貼りつけていく作業には確かなリズムがあり、萌子さんの優しさと強さ、そして色彩感覚を物語っています。

企画・制作：21+Happy（佐橋由利衣 大谷裕子）

装丁・デザイン：澤地真由美 題字：松田朔空（2009年生まれ／当時4歳）

編集：やまもとまさこ 上原公子

協力：中込さと子（信州大学医学部保健学科教授） 玉井浩（大阪医科大学）

2019年3月 3刷発行（2018年度版）

発行：公益財団法人日本ダウン症協会 発行人：別府尚武 水戸川真由美

住所：〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11

この手帳（2018年度版）は公益財団法人公益推進協会「For Children 基金」からの助成金により作成しました。